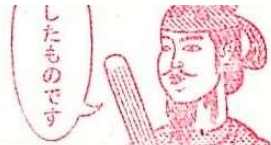


★学校周辺は、滋賀県は、日本は、どんな地域なのだろう？

マトリックス



BTのはじめの問い

滋賀県の地形と滋賀県の歴史にほどのおたは関係があるのだろうか。

	初めのイメージ	地理を学んで
学校周辺	A <ul style="list-style-type: none"> ○昔ながらが残っている ○小、中学校が多い ○駅が近くにある ○建物が比較的多い ○ビル等大きな建物が少ない ○人が少し多い 	D <ul style="list-style-type: none"> ○石垣や東海道の跡 ○跡があるから昔の風景が残っている ○大きな建物や湖岸道路があるから少しづつ発展している ○昔ながらの建物があるからいろいろな年代の人がいる
滋賀県 どよみ 高齢者が多い 外国との交流	B <ul style="list-style-type: none"> ○琵琶湖がある ○固有種 → ヒメコオナマス ○山が多い ○北と南で気候がちがう ○自然が豊か ○伝統文化が多い ○とららがいる 	E <ul style="list-style-type: none"> ○近畿の水がある ○交通網の中間地点 ○環境への配慮 ○近畿の産業、農業を琵琶湖で支えている ○大都市の間にある
日本 平野が少ない	C <ul style="list-style-type: none"> ○四季 ○森林が多い ○水産資源が豊富 ○山が多い ○温暖で住みやすい ○北と南で温度差が大きい 	F <ul style="list-style-type: none"> ○地形、気候に合わせて産業をおこなっている ○高齢化、少子化が進んでいる ○未来に向けた対策を考えている (栽培漁業など)

BTで提案したい問い

滋賀県は坂が多く、高低差があるがその高低差は戦国時代の滋賀県の武將を育てたのではないか。また、その高低差を今は何に役立てられているのだろうか。

論述

初めの問いと比べて、どのように変わりましたか？ どのように深めることができましたか？ 地理で学んだことをもとに説明しましょう

初めは滋賀県の地形をあまり知らなかった。たいてい地形と歴史の結びつきが抽象的な問いになっていた。しかし、学校周辺の巡検を以て滋賀県には坂が多く高低差があることを学んだおかげで問いが具体的となり、戦国時代や今の関係づけもしやすくなった。

ID	名前	この単元の自己評価 A/B/C/D	評価 S
		・論述の難易度 易 普 難	